

報道関係各位

2007年10月22日  
株式会社フィデッサ

## インスティネット証券会社、フィデッサのコネクティビティ・サービスを採用 ＝ 欧州に続き日本でも迅速なコネクションが可能に＝

全金融資産取引対応のトレーディング・システム、ポートフォリオ管理、投資意思決定支援、コンプライアンス対応システム及びマーケット・データ、コネクティビティ・ソリューションを提供する株式会社フィデッサ(本社英国ロンドン、日本支社東京都千代田区、チーフ・エグゼクティブ: イアン・チルトン、以下フィデッサ)は本日、フィデッサのコネクティビティ・サービスを機関投資家向けの電子ブロック・クロッシングサービスを提供する大手委託取引専門の証券会社であるインスティネット証券会社東京支店(以下、インスティネット証券)のダークプール、アルゴリズム取引、ダイレクト・マーケティング・アクセスからなる PTS(私設取引システム)に接続することを発表しました。

ヨーロッパ、カナダ、アメリカにおいてインスティネット証券は、すでにフィデッサのコネクティビティ・ネットワークに接続されています。今回の発表により、フィデッサのコネクティビティ・サービスを利用しているユーザーはインスティネット証券の執行管理システムに直接アクセスすることが可能になり、FIX で直接アクセスするのと同様に、フィデッサのトレーディングプラットフォーム、フィデッサ・レイテントゼロの EMS ワークステーションおよびミネルバ・バイサイド OEMS を通じて利用できるようになります。

今回のコネクティビティの拡張により、フィデッサ・ユーザーは、インスティネット証券が取得している日本における私設取引システム運營業務の認可のもと、アルゴリズム取引、50 超の証券会社に電子アクセスを可能とするダイレクト・マーケット・アクセス、ジャパクロッシング™ とCBX Japan の2つの流動性プールへの接続が可能になりました。ジャパクロッシング™ は日本株の取引をする機関投資家に対して匿名性と中立性を保ったアジア最大の市場外取引における流動性プールで、またCBX Japanは24時間運営されているグローバルなリアルタイム電子証券取引市場で、トレーダーが自分で取引相手を探し出し、互いに交渉し、合意した価格でブロック取引を行うことができます。CBX Japanは機関投資家がいつでも世界の株式のブロック取引を行うことを可能にする、アジアで唯一の取引システムです。

インスティネット証券の電子取引担当のクリスチャン・チャン氏は次のように述べます。「インスティネット証券はこれまでヨーロッパにおいてフィデッサとの関係を構築してきました。このたび、アジアにおいてフィデッサとの関係を拡大していけることを嬉しく思います。これにより、ユーザーは取引所外流動性およびグローバルなトレーディングプラットフォームを通じより多くのビジネスチャンスを得ることが可能となります。」

フィデッサのアジア・ブローカー・ネットワーク担当のジェームス・ハードキャッスルは「流動性を得ることがますます困難となるなか、アジア最大のコネクティビティを有するインスティネット証券のフィデッサのネットワークへの接続はユーザーのより迅速な取引を可能にします。フィデッサは、アジア市場における専門的知識および取引市場の広範な選択をクライアントに提供していきます」と述べています。

フィデッサのコネクティビティ・ネットワークは、セルサイドへの注文回送を実施する顧客企業に標準化されたソリューションを提供します。ネットワークの典型的な使用として、複数の市場で取引をしている取引所会員権を持たない顧客や機関投資家を支援するためのバイサイドとセルサイドの間におけるコネクティビティ、またブローカー間における接続が含まれています。

### インスティネットグループについて

インスティネットグループは、世界 50 以上の証券市場との取引に必要な取引情報および先端技術を提供している機関投資家向けの委託電子取引をグローバルで取り扱う、委託取引専門の証券会社です。インスティネットグループは、様々なフロントエンド・トレーディングシステム、クロッシングネットワーク、リピータ機能(スマートルーティング)テクノロ

ジー、アルゴリズム取引、コミッション・マネージメント、独立系リサーチを通じて、投資パフォーマンスの向上および包括的取引コスト削減を目指しています。また、米国におけるCBX<sup>SM</sup>、ヨーロッパにおけるChi-X<sup>®</sup>、アジアにおけるJapanCrossing<sup>SM</sup>などを含む多岐にわたるATSプラットフォームを運用しています。野村ホールディングの100%子会社として、インスティネットグループは、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋にオフィスを構えています。詳細は、[www.instinet.com](http://www.instinet.com)をご参照ください。

#### フィデッサ・グループについて

フィデッサ・グループは、全金融資産取引対応トレーディング・システム(OMS/EMS)、ポートフォリオ管理、投資意思決定支援、コンプライアンス管理、マーケットデータ、グローバルコネクティビティ(グローバル運用に適応したネットワーク接続)を包括する世界最高水準のトレーディング・ソリューションを提供しています。シンプルなワークステーションの形態から、個別の顧客要求に応じた統合型アプリケーションまで様々な形での提供が可能です。FidessaおよびFidessa LatentZeroは、フロントおよびミドルオフィス・ソリューションとして幅広い機能と広範なサービス領域を、セルサイド、バイサイドのあらゆる規模の顧客企業に提供するという理念のもとに構築されています。

現在、トレーディング・ソリューション、注文/発注管理システム、マーケットデータ、グローバルコネクティビティ(グローバル運用に適応したネットワーク接続)を提供しているFidessaは、世界大手証券会社の85%により使用されています。

また、Fidessa LatentZeroは世界最大の資産運用会社やヘッジファンドにより使用され、包括的なポートフォリオ分析、モデリング、発注管理、事前/事後取引過程のコンプライアンス管理を司るソリューションをバイサイドに提供しています。

Fidessaのグローバル・ネットワークは、現在、月に5,000万件以上のメッセージを配信、約1,300のバイサイド企業、230のブローカー、83の取引所間の電子取引フローをカバーしています。

#### 株式会社フィデッサについて

株式会社フィデッサは、2000年1月にFidessa<sup>®</sup>を提供する英フィデッサ・グループplcの日本法人として設立されました。フィデッサ・グループplcは、1981年の創立で、現在、ロンドン(本社)、サリー(英)、ニューヨーク、ボストン、東京、香港、パリ、トロントを拠点に、1,059人の従業員を要し、1997年よりロンドン証券取引所に上場されています。2007年にレイテントゼロ社を買収しました。2006年度のグループ全体の売上げは、9,460万ポンド(約226億円)です。  
<http://www.fidessa.com/JP>

【この件に関するお問い合わせ先】

株式会社フィデッサ マーケティング部 松原 弘 ・ 本橋 幸 電話: 03-4550-1000(代)

株式会社パーソン・マーステラ 来島 一男 ・ 松元 涼子 電話: 03-3264-6701(代)